



**メルマガ・ステップメール配信ソフト  
MILKY STEP Professional 操作マニュアル  
(取り扱い説明書)**

**【コントロールパネル操作（共通設定）編】**

Version 2.26

## 目 次

第1章 改定履歴	4
第2章 免責事項	4
1. ソフトウェアの著作権	4
2. ソフトウェアの改変等	4
3. ソフトウェアを使用したことによる損害、保証等	4
4. 使用の中止について	4
5. 使用禁止	4
6. 購入代理及び販売代理	5
7. ソフトウェアの複数使用	5
8. ソフトウェア別の免責事項	5
9. ダウンロードのパスワード	5
10. 有効期限	5
11. 免責事項について	5
12. 違約金	6
13. 免責事項の変更	6
第3章 本書の概要	7
1. 対象ソフトウェア	7
2. 対象ソフトウェアの使用目的	7
3. 無償版について	7
4. 差し込み画像について	7
5. ヘルプ機能について	7
6. 本書の取り扱い	7
7. 購入後のサポート	7
第4章 管理画面（コントロールパネル）の操作（共通設定）	9
1. ログイン	9
2. コントロールパネルの見方	11
3. ログアウト	12
4. Light から Professional への移行および Professional のバージョンアップ	13
5. オプションスクリプトのインストール、バージョンアップ	17
6. Light のバージョンアップ	20
7. ユーザの追加（マルチユーザ機能）	21
8. ユーザ情報の変更、削除	23
9. システム情報の設定	24
10. 既定のヘッダ・フッタの設定	28
11. 本文テンプレート設定	33
12. 属性設定	36
13. 独自タグの設定	38
14. 画像ファイル設定	41
15. 未解析エラーメール情報の確認	45
16. SMTP 設定	47
17. 配信ログの参照	50
18. バックアップの取得	52
19. バックアップファイルのリストア（復元）	54
20. バックアップやリストアができない場合	56

21. ログイン履歴 .....	61
22. 読者横断検索 .....	63

## 第1章 改定履歴

初期設定編に記載

## 第2章 免責事項

下記の免責事項をご承諾頂いた方のみこのソフトウェアを利用頂くことが出来ます。  
また、ソフトウェア等をダウンロードした時点で下記免責事項に承諾したものとみなします。

### 1. ソフトウェアの著作権

ソフトウェア一式およびそれに付随する取扱説明書等の著作権は、全て株式会社イグレックス（以下弊社）に帰属します。

### 2. ソフトウェアの改変等

ソフトウェア利用者は、いかなる理由があろうともソフトウェアを構成する全てのファイルおよびそれに付随するファイル等（以下ソフトウェア）の改変、修正、複製、配布、譲渡、貸与、コンパイル、逆コンパイル等を行なうことはできません。  
但し、弊社が認めた場合はこの限りではありません。

### 3. ソフトウェアを使用したことによる損害、保証等

このソフトウェアを使用したことによる一切の損害等に対し弊社では責任を負いません。また、弊社はソフトウェアの動作等および利用者の利益を保証するものではありません。

ソフトウェアを動作させるサーバー等の指定はありませんが、ソフトウェアの動作環境を満たしたサーバーが必要です。

動作環境を満たしている場合でも、大量のデータを取り扱う場合はサーバ負荷が高くなり、動作しない場合がありますので予めご了承ください。

レンタルサーバなど、複数人が利用するサーバによっては、負荷の高い操作や大量のメール配信などを禁止している場合があります、このような禁止行為を行なうことは出来ません。また、禁止されていなくても、共同利用者やサーバ提供者、サーバ機器等に迷惑、損害行為を与える使用はできません。大量のメール配信を行う予定がある場合は、専用 WEB サーバまたは専用メールサーバの使用を強く推奨します。

### 4. 使用の中止について

このソフトウェアには、一部の場合を除き、使用期限はありません。

ただし、弊社が不適当と判断した場合においては、内容、理由を問わず、ソフトウェアの使用を取りやめて頂く場合があります。

弊社から使用の中止を求められた場合は、ただちに WEB サーバー、ご使用の PC、CD、FD、HDD 等の記憶媒体から当該ソフトウェアを削除しなければならないものとします。

### 5. 使用禁止

弊社が提供するソフトウェアはレンタルに使用することは出来ません。

但し、弊社が認めた場合はこの限りではありません。

また、法令や条例、公序良俗に反する使用、SPAM メールなど他人に迷惑となるような使用を行うことはできません。

## 6. 購入代理及び販売代理

弊社ソフトウェア販売を促進する広告等の出稿に制限はありません。

また、販売代理による仲介料を得る場合には、弊社が登録するアフィリエイトサービスプロバイダ（以下 ASP）を通し販売代理契約を結ぶか、弊社が直接販売代理契約を結んだ者でなければなりません。

また、弊社が認めた場合を除き、販売代理者が直接購入者から購入代金を徴収することはできません。購入に関しては、購入者の制限はありません。ただし、ASP を介して購入する場合には、当該 ASP の規約を厳守したうえで購入しなければなりません。

## 7. ソフトウェアの複数使用

有償・無償を問わず、同一ユーザーかつ同一サーバーに限り、複数使用が可能です。

詳しくは下記の定義をご覧ください、不明な点は弊社までご相談ください。

※同一ユーザーとは

レンタルや運営代行（弊社が認めた場合）は同一ユーザーではございません。

例えば、ショッピングモールやレンタルサーバー事業者が、会員にソフトウェアを使用させることや、ホームページ制作・運営会社などが複数の顧客に本ソフトウェアを販売・提供することはできません。

※同一サーバーとは

ハード面とソフト面の両面から明らかに同一と判明している場合です。

同じサーバー（ハード）であっても、共用サーバーの各アカウントや明らかに異なるコンテンツを提供している場合は、別サーバーになります。（ドメイン転送 など）

※複数使用が可能な例

- ・会員用と非会員用メール配信を行うために同一サーバ内にソフトウェアを複数設置する。
- ・動作の負荷を分散させる目的で、同一サーバ内にソフトウェアを複数設置する。

※複数使用にはあたらない例

- ・同一ソフトウェアで、複数のサイトの会員を管理したりする場合。

## 8. ソフトウェア別の免責事項

ソフトウェアによっては、個別の免責事項が掲載されている場合もございますので、ご注意願います。

## 9. ダウンロードのパスワード

有償のソフトウェアにつきましては、ソフトウェアをダウンロードするためのキーを取得するパスワードを商品 PDF ファイルに記載しております。

指定の場所から、そのパスワードを利用して当該ソフトウェアのダウンロードキーまたはバージョンアップキーを取得します。

その後、指定の場所から、取得したダウンロードキーまたはバージョンアップキーを入力し、ソフトウェアをダウンロードするか、ソフトウェアの管理画面からオンラインバージョンアップを行うことができます。

## 10. 有効期限

ダウンロードしたソフトウェア等に使用期限はありません。

使用期限がありませんので、何年でもご利用頂く事が出来ます。

ただし、有償のソフトウェアのダウンロードキー、バージョンアップキーを取得するためのパスワードは、必要に応じ随時変更しますので、お早めにキーを取得しておくことをお勧めします。

## 11. 免責事項について

この免責事項に承諾いただけない方は弊社ソフトウェアを使用することが出来ません。

弊社ソフトウェアをダウンロードした時点で、この免責事項を承諾したものとみなします。

## 12. 違約金

弊社はこの免責事項に違反した行為を行った利用者に対し、当該ソフトウェアの即刻停止および削除、違約金として金一千万円を請求いたします。被請求者はこれに速やかに従うものとします。

## 13. 免責事項の変更

この免責事項は、弊社が必要と判断した場合に加筆、修正を行う場合があります。  
また弊社は、ソフトウェア利用者への免責事項の変更、修正等の承諾、通知等の義務を負わないものとします。

### 【改定履歴】

- ・ 2012年1月17日      著作権の帰属元を株式会社イグレックスに変更

## 第3章 本書の概要

### 1. 対象ソフトウェア

本書は原則として有償版ソフトウェア「MilkyStep Professional」に関しての取り扱い方法を説明しています。

### 2. 対象ソフトウェアの使用目的

RFCに準拠したEメールを用いたメールマガジンの配信、段階的定期メール（ステップメール）の配信、ループメールの配信、およびそれらの読者反応率等の統計、分析による販売戦略等の検討分析。

### 3. 無償版について

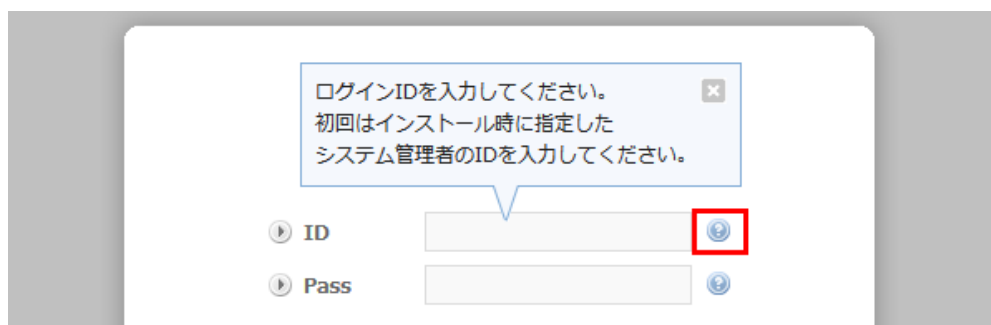
文中に「※この機能は MilkyStep Professional にてご利用いただけます。」と記載されている場合は、無償版「MilkyStep Light」において、当該機能を使用することはできません。  
有償版「MilkyStep Professional」をお買い求めいただくことにより使用できるようになります。

### 4. 差し込み画像について

本書中に記載されている説明用画像は、本書執筆時のソフトウェアの状態を表したもので、バージョンアップ等に伴い、実際使用するソフトウェアの画像とは若干の違いが生じる場合がありますので、ご了承ください。

### 5. ヘルプ機能について

バージョンの違いにより、コントロールパネル内の各設定入力箇所に、ヘルプボタン（“?”マーク）が表示されている場合があります。（Professional Ver1.76以降）このヘルプボタンをクリックすると、当説明書での記載とほぼ同様の解説が表示されます。ヘルプボタンの無い設定箇所については、当説明書の該当箇所をご参照ください。



### 6. 本書の取り扱い

本書「免責事項」に記載の通り、本書はソフトウェアに付随するファイルの一部となりますので、取り扱いもソフトウェアと同等となります。  
よって、著作権等含むその他の事項は「免責事項」に沿うものとします。

### 7. 購入後のサポート

MilkyStep をご利用の方に対し個別のサポートは行っておりません。その代り、ご利用者限定の公式コミュニティサイトをご用意しております。  
これは、本書の説明で不明の点や、高度なソフトウェアの利用法などを、利用者同士で質問・回答を行ったりして理解を深めるための SNS サイトです。  
また、コミュニティ内で開発元が回答や補足説明を行う場合がありますが、その義務は負いませんのであらかじめご了承ください。

利用方法は「トラブルシューティング編」の「コミュニティサイトの利用方法」の章をご参照ください。

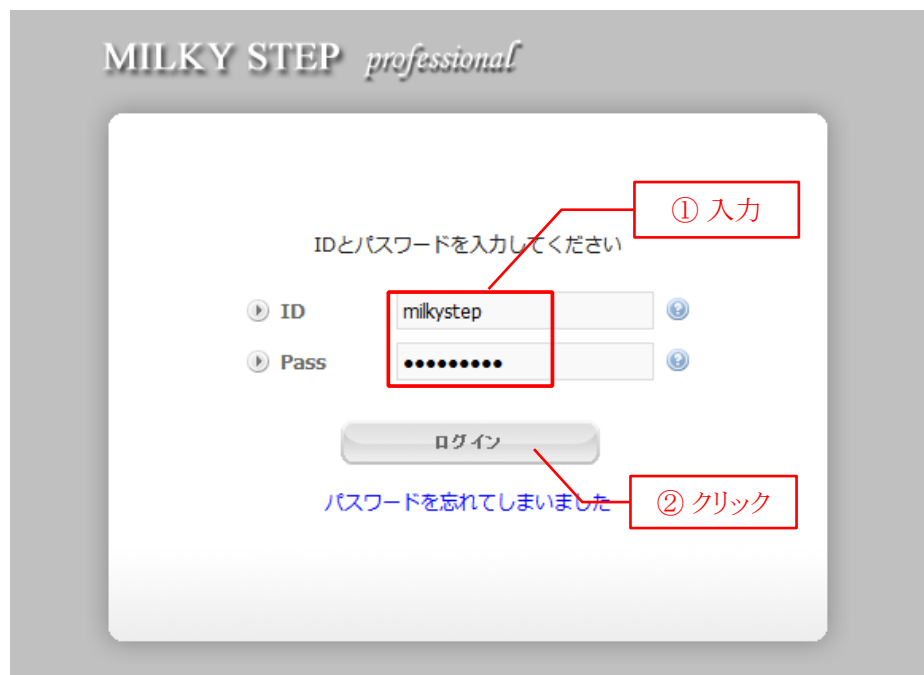
公式コミュニティ URL : [http://milkystep.com/ms\\_poc/](http://milkystep.com/ms_poc/)



## 第4章 管理画面（コントロールパネル）の操作（共通設定）

### 1. ログイン

ログインページ（index.cgi）にアクセスしたら、まず、インストール時に設定した「システム管理者」のIDとパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックします。



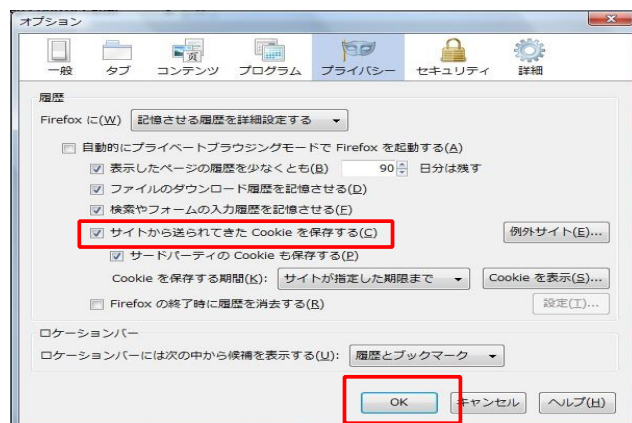
※このページをブックマークしておくと次回からの操作が便利です。

※初回のログイン時は「※Cookieを有効にしてください」という警告が続けて表示される場合がありますが、有効になっている場合はもう一度ログインを行ってください。

それでもまだこの警告が表示される場合は、Cookieが無効になっている可能性があります。ブラウザの設定から、Cookieを有効にしてください。

Firefox（Windows版）の例：

- ・上部バーの「ツール」→「オプション」→「プライバシー」タブを選択
- ・「サイトから送られてきたCookieを保存する」「サードパーティのCookieも保存する」にチェックを入れて「OK」



システム情報の設定で、2段階認証が有効になっている場合は、ワンタイムパスワードの入力画面が表示されます。

ログインユーザーのメールアドレス宛に送信されたワンタイムパスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the login interface for 'MILKY STEP professional'. At the top, it says 'tes\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*.comにワンタイムパスワードを送信しました。' (A one-time password has been sent to tes\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*.com). Below this is a password input field with a play button icon and the label 'Pass'. The field contains the number '12345678'. To the right of the field is a question mark icon. Below the input field is a 'ログイン' (Login) button. Below the login button is a '再送する' (Resend) link. Two red boxes with arrows point to the input field and the login button, labeled '① 入力' (Input) and '② クリック' (Click) respectively. At the bottom, it says 'Version 2.16 © 2008-2020 Igreks Inc. All Rights Reserved.'

※ワンタイムパスワードの有効期限は発行から10分間です。

## 2. コントロールパネルの見方

ログインに成功すると以下のような画面が表示されます。

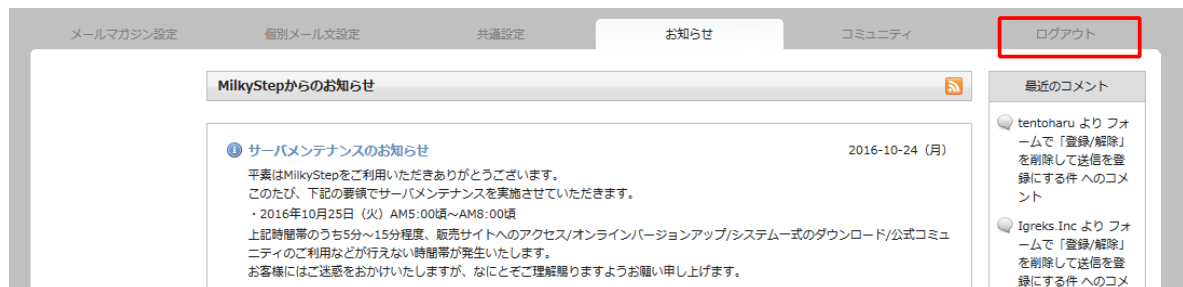


- ①… バナー表示部分です。「MilkyStep Light」をインストールされた場合は「Professional」の部分「Light」となります。
- ②… 現在の MilkyStep のバージョンと現在ログインしているユーザのログイン ID（Light Ver0.94 Professional Ver1.55以降）が表示されます。  
バージョン番号はバージョンアップ等を行うと変更されます。Light の場合はバージョンが1未満、Professional の場合は1以上となります。
- ③… ナビゲーションタブエリアです。ここで利用する機能の種類を切り替えます。
- ④… レフトバーです。登録済みのメルマガ ID やストーリー一覧などが表示されます。
- ⑤… メインエリアです。
- ⑥… ライトバーです。コミュニティ新着情報（Professional Ver1.41 Light Ver0.93以降）や最近の配信履歴などが表示されます。
- ⑦… サーバの現在日時（Professional Ver1.66以降）や新バージョンの公開情報などが表示されます。

### 3. ログアウト

ログアウトを行う場合は、ナビゲーションタブの「ログアウト」タブをクリックします。

また、デフォルト状態では最後の操作から30分以上経過すると自動的にログアウトします。  
自動ログアウト時間は、後ほど「[システム情報の設定](#)」から変更することができます。



## 4. Light から Professional への移行および Professional のバージョンアップ

「MilkyStep Light」をすでにご利用の方で、有償版「MilkyStep Professional」を新規にご購入いただいた方、および「MilkyStep Professional」をご利用中で、上位のバージョンへ移行したい方は、ここでワンクリックバージョンアップが行えます。

それ以外の方は次の設定に進んでください。

初めて「MilkyStep Professional」に移行する方は、まず【初期設定編】第5章内「MilkyStep Light（無償）を設置しておらず、Professional（有償）を初めて使用する場合」の要領で、最新バージョンのバージョンアップキーを取得してください。

そうでない方は、ご購入者通信にて、最新バージョンのバージョンアップキーを通知しておりますので、そちらでキーをご確認ください。

バージョンアップ作業の前に、以下を確認してください。

- ・ ご自分以外のユーザがコントロールパネルを操作している場合は、念のため一旦設定を保存し、バージョンアップが完了するまで操作を中断してください。
- ・ バージョンアップ中に配信される恐れのあるストーリーや予約記事がある場合は、必ず「停止」状態にするか、配信時刻を遅らせておいてください。
- ・ Professional Ver1.40未満または Light Ver0.92未満から Professional Ver1.40以上へバージョンアップを行う場合は、[こちら](#)も必ずご確認ください。

コントロールパネルの「共通設定」タブをクリックし、レフトバーの「バージョンアップ」を選択します。



メインエリア上部には、現在公開中のバージョンが自動的に取得され表示されます。

下部には現時点までのバージョンアップの履歴が表示されます。

バージョンアップキー取得時に確認したバージョンと、「システムのバージョンアップ」欄に表示されているバージョンが合っていることを確認し、「バージョンアップ実行」ボタンをクリックします。

※スパムメールは犯罪です。法律を遵守したメール配信に努めましょう。特定電子メール法の詳細は [こちら](#) ※

MILKY STEP *light* VERSION0.71

ステップメール設定 自動メルマガ設定 標準メルマガ設定 個別メール文設定 **共通設定** お知らせ コミュニティ ログアウト

既定のヘッダ/フッタの設定  
属性設定  
独自タグ設定  
ユーザ設定  
バージョンアップ  
配信ログ  
バックアップ  
リストア  
システム情報

### システムのバージョンアップ

使用中のバージョン: ver 0.71

最新バージョン: ver 1.00

MilkyStep professional **ver1.00**へのバージョンアップが可能です。

**バージョンアップ実行**

### バージョンアップ履歴

バージョンアップを行った日時	対 象	バージョン	公開日	備 考
2010-03-14 19:15:05	システム	0.71	2010-03-09	新規インストール

※最新20件まで表示

※バージョンアップキーを紛失してしまった場合は[こちら](#)から再取得してください。  
※バージョンアップを手動で行う場合は、[こちら](#)から最新版のファイルがダウンロードできます。

Copyright(c) 2008-2010 Igreks Communications All Rights Reserved

取得したバージョンアップキーを入力して、「実行」をクリックします。

※バージョンアップを中止する場合は「戻る」ボタンをクリックします。

システムの共通設定 ▶ システムのバージョンアップ ▶ **実行確認**

システムを**Ver 1.57からVer 1.58**にバージョンアップします。

以下にバージョンアップ（インストール）用キーを入力し実行ボタンを押してください。

この処理には時間がかかる場合があります。

キーを入力 >>  -

**実行** **戻る**

※ワンクリックバージョンアップを行うためには所定の Perl モジュールが必要なため、インストール時にチェックを行っています。これらのモジュールが不足している状態でこの機能を利用しようとすると、

「\*\*\*がインストールされていないためこの機能は利用できません」

「モジュールが不足しています」

などのエラーが表示されます。このエラーが表示された場合は、【トラブルシューティング編】第4章内「オンラインバージョンアップ用のモジュールが無い場合はどうやってバージョンアップやインストールを行うのですか？」を参考に手動にてバージョンアップを行ってください。

※「～HTTP リクエストに失敗しました」というエラーや、キーが合っているのに「～ファイルの取得に失敗しました。キーが正しいか確認してください」といったエラーが表示される場合は、通信障害が発生している可能性があります。

しばらくたってからもう一度バージョンアップを試してみてください。

キーが承認されるとバージョンアップが開始されますので、終了するまでしばらく待ちます。

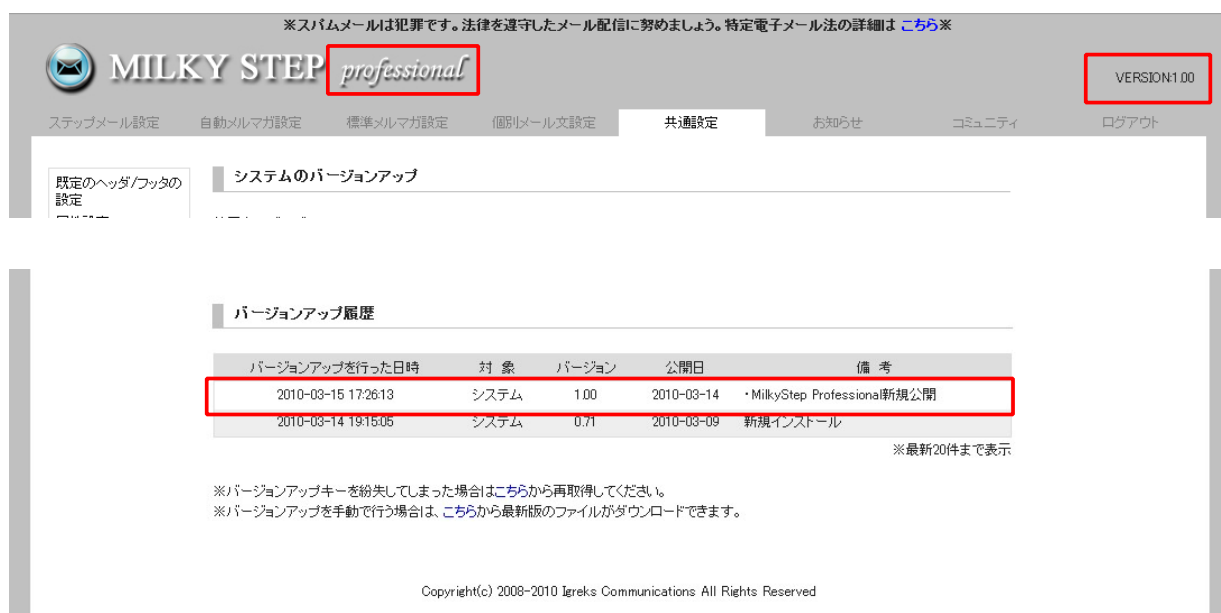
※バージョンアップ中にブラウザを終了しないでください。

※バージョンアップ中は書き換え中のファイルが一時的に利用できなくなったり、データベースに接続できなくなる場合があります。

問題なく終了すれば「バージョンアップが正常に完了しました」と表示され、「OK」を押すと画面が更新されます。



上部バナーと右上のバージョン番号が更新され、「バージョンアップ履歴」に履歴が記録されます。



※万が一バージョンアップ中にエラーが発生し、正常にバージョンアップが完了できなかった場合は、念のためもう一度バージョンアップを行ってみてください。

それでもエラーが発生する場合、またエラーによって MilkyStep の動作がおかしくなった場合は、申し訳ありませんが【トラブルシューティング編】第4章内「オンラインバージョンアップ用のモジュールが無い場合はどうやってバージョンアップやインストールを行うのか？」を参照して手動にてバージョンアップを行ってください。

今後、新たなバージョンが公開された場合も、以上の要領でバージョンアップを行ってください。

※初回のバージョンアップ以降、新たに新バージョンが公開された場合は、ご購入者通信にてバージョンアップキーを通知いたします。

※万が一バージョンアップキーを紛失されてしまった場合でも、【初期設定編】第5章内

「Milkystep Light（無償）を設置しておらず、Professional（有償）を初めて使用する場合」の要領でキーを再取得することができます。ただし、セキュリティ上キー取得用のパスワードを予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



## 5. オプションスクリプトのインストール、バージョンアップ

※この機能はオプションスクリプトの開発/販売/サポート終了により Ver1.70から廃止されました。

ご自分の紹介 ID が付与された ASP 商品広告などを取得して、メールの記事に自動的に組み込むためのオプションスクリプト（別売り）をご購入いただくと、システム同様にオンラインでのインストール・バージョンアップが可能になります。

【初期設定編】第5章内「Milkystep Light（無償）を設置しておらず、Professional（有償）を初めて使用する場合」の要領で、ご購入時に取得したキー取得パスワードを利用し、最新バージョンのダウンロードキーを取得します。

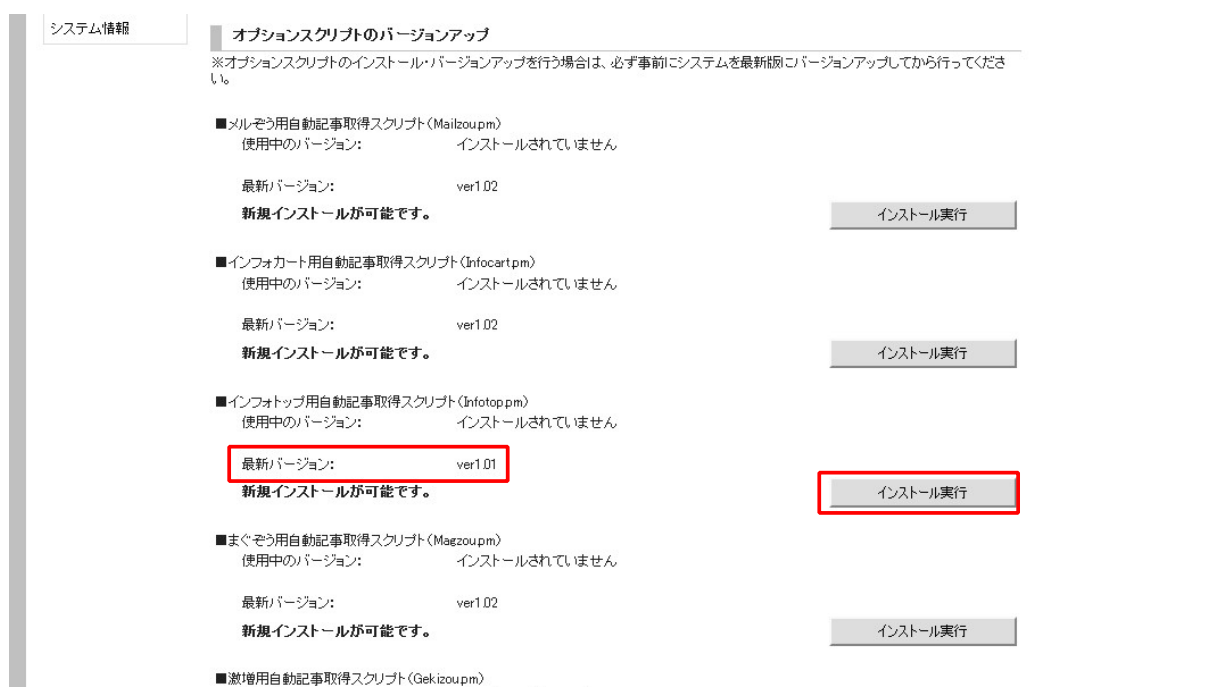
※本書ではインフォトップ用オプションスクリプトの場合を例にして説明します。

「共通設定」タブから「バージョンアップ」を選択します。



システムが Professional の場合、「オプションスクリプトのバージョンアップ」の項目に現在公開されているオプションスクリプトの一覧が表示されます。

キー取得時に確認したバージョンと表示されているバージョンが合っていることを確認して、「インストール実行」ボタンをクリックします。



取得したバージョンアップキー（ダウンロードキー）を入力し、「実行」ボタンをクリックします。

※「入力したキーを Cookie に保存する」にチェックを入れておくと、再インストール（再バージョンアップ）を行う際にキーの入力が省略できます。

システムの共通設定 ▶ オプションスクリプトのバージョンアップ ▶ 実行確認

Magzou.pmをVer 1.11からVer 1.12にバージョンアップします。

以下にバージョンアップ（インストール）用キーを入力し実行ボタンを押してください。

この処理には時間がかかる場合があります。

キーを入力 >>

 - 

実行

戻る

キーが承認されるとインストールが開始されますので、終了するまでしばらく待ちます。

※インストール中にブラウザを終了しないでください。



問題なく終了すれば「バージョンアップが正常に完了しました」と表示され、「OK」を押すと画面が更新されます。

「バージョンアップ履歴」に履歴が記録されます。

これで、記事の編集時にインフォトップのアフィリエイトタグが使用できるようになりました。

今後新しいバージョンが公開された場合、他のオプションスクリプトをインストールする場合も、同様の手順で行ってください。

#### バージョンアップ履歴

バージョンアップを行った日時	対象	バージョン	公開日	備考
2010-03-16 12:56:23	Infotop.pm	1.01	2010-01-23	カテゴリ、報酬額処理のバグを一部修正
2010-03-15 23:25:42	システム	1.00	2010-03-14	・MilkyStep Professional新規公開
2010-03-15 23:24:56	システム	0.71	2010-03-09	新規インストール

※最新20件まで表示

※バージョンアップキーを紛失してしまった場合はこちらから再取得してください。  
 ※バージョンアップを手動で行う場合は、こちらから最新版のファイルがダウンロードできます。

※バージョンアップ中は書き換え中のファイルが一時的に利用できなくなったり、データベースに接続できなくなる場合があります。

※万が一バージョンアップ中にエラーが発生し、正常にバージョンアップが完了できなかった場合は、念のためもう一度バージョンアップを行ってください。

それでもエラーが発生する場合、またエラーによって MilkyStep の動作がおかしくなってしまった場合は申し訳ありませんが、【トラブルシューティング編】第4章内「オンラインバージョンアップ用のモジュールが無い場合はどうやってバージョンアップやインストールを行うのですか？」を参照して手動にてバージョンアップを行ってください。

## 6. Light のバージョンアップ

無償版「MilkyStep Light」のバージョンアップは、現在のところ全て手動でのバージョンアップとなります。

「MilkyStep Light」をご利用中で、「MilkyStep Light」の上位バージョンへ移行したい方は、【トラブルシューティング編】第4章内「オンラインバージョンアップ用のモジュールが無い場合はどうやってバージョンアップやインストールを行うのですか？」を参考に、手動バージョンアップを行ってください。

## 7. ユーザの追加（マルチユーザ機能）

初回のログインは、システム管理者の ID でログインしています。今後利用する上で、複数のログイン ID を用いて運用したい場合、ユーザを追加しておくことができます。

ユーザを追加したい場合は、「共通設定」タブをクリックし、レフトバーの「ユーザ設定」をクリックします。



現在登録されているユーザの一覧が表示されますので、「新しいユーザを追加」ボタンをクリックします。

システムの共通設定 ▶ ユーザ設定

ユーザの追加および削除はシステム管理者のみ行えます。  
一般ユーザは、権限以外の自分の項目を設定できます。

1 ～ 1 / 1 件

ユーザ名	作成者	種別	登録日時
admin	システム	システム管理者	2012-04-20 00:46:47

1 ～ 1 / 1 件

新しいユーザを追加

新しく追加するユーザの ID、パスワード、確認用パスワード、パスフレーズ、メールアドレス、権限を設定し、「保存」ボタンをクリックします。

※パスフレーズはログインパスワードを紛失した際、再発行するための合言葉として使われます。

※メールアドレスは再発行したパスワードを通知する際の宛先として使用されます。

※Light の場合はステップメール、ループメール（旧・自動メルマガ）等の権限設定はできません。

## システムの共通設定 ▶ ユーザ設定 ▶ ユーザ情報の編集

ログインID	sub_user
パスワード	●●●●●●●●
パスワード（確認用）	●●●●●●●●
パスワード再設定用のパスフレーズ	サブユーザの合言葉
メールアドレス	sub_user@y-ml.com

権限	号外記事	<input checked="" type="checkbox"/> 作成/削除/編集
	ステップメール	<input checked="" type="checkbox"/> 作成/削除/編集
	ループメール	<input checked="" type="checkbox"/> 作成/削除/編集
	個別記事	<input checked="" type="checkbox"/> 作成/削除/編集
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 読者の閲覧 <input checked="" type="checkbox"/> 読者登録/削除/編集 <input checked="" type="checkbox"/> バージョンアップ
		<input checked="" type="checkbox"/> その他の共通設定編集

保存

戻る

ユーザが追加されました。

## システムの共通設定 ▶ ユーザ設定

ユーザの追加および削除はシステム管理者のみ行えます。  
 一般ユーザは、権限以外の自分の項目を設定できます。

1 ~ 2 / 2 件

ユーザ名	作成者	種別	登録日時
sub_user	admin	一般ユーザ	2012-04-21 10:47:49
admin	システム	システム管理者	2012-04-20 00:46:47

1 ~ 2 / 2 件

今後、追加したユーザのログイン ID とパスワードでコントロールパネルにログインできるようになり、与えられた権限の操作が行えます。なお、ユーザの作成数に制限はありません。

## 8. ユーザ情報の変更、削除

ユーザの情報や権限を変更したい場合は、ユーザー一覧から変更したいユーザ ID をクリックします。

システムの共通設定 ▶ ユーザ設定


ユーザの追加および削除はシステム管理者のみ行えます。  
一般ユーザは、権限以外の自分の項目を設定できます。

1 ~ 2 / 2 件

ユーザ名	作成者	種別	登録日時
sub_user	admin	一般ユーザ	2012-04-21 10:47:49
admin	システム	システム管理者	2012-04-20 00:46:47

1 ~ 2 / 2 件

各情報を修正し、「保存」ボタンをクリックすれば変更完了です。  
また、このユーザを削除する場合は「保存」ボタン隣の「削除」ボタンをクリックします。



氏名

その他

権限

☒ 読者の閲覧

☒ その他の共通設定編集

操作

☒ 読者登録/削除/編集

☒ バージョンアップ

確認画面が表示されますので「はい」を選択すれば削除が完了します。

システムの共通設定 ▶ ユーザ設定 ▶ ユーザ情報の編集 ▶ ユーザの削除

ユーザ「sub\_user」を本当に削除してもよろしいですか？

## 9. システム情報の設定

ここではシステム関連の情報の設定、確認が行えます。

「共通設定」タブをクリックしレフトバーの「システム情報」を選択します。



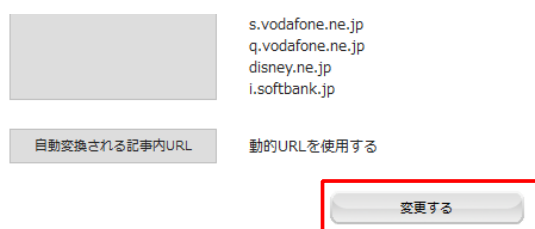
「システムの環境設定」の欄に、現在設定されている sendmail パス、システムのメールアドレス、SMTP サーバ情報、コントロールパネルの自動ログアウト時間、各携帯キャリア用ドメインなどが表示されます。

初期の状態では、インストール時に指定した sendmail パスとメールアドレス、SMTP サーバは「指定しない」に設定されています。

自動ログアウト時間はデフォルトの状態では1800秒（30分）に設定されています。

また、「サーバ情報」にてインストール時に行った環境チェック結果が確認できます。

システムの環境設定を変更する場合は「変更する」ボタンをクリックします。



各入力部分を修正します。

デフォルトではローカルホスト（MilkyStep がインストールされているサーバ）のメールサーバから sendmail コマンドを利用して、システムからのメールを送信する設定になっています。

これを直接 SMTP サーバを指定してメールを送信するように変更する場合は、「SMTP サーバを指定する」にチェックを入れ、「SMTP サーバ名（ホスト名）」「ポート番号（デフォルトは25）」を入力し「保護された接続」を選択します。

指定した SMTP サーバが送信時に SMTP 認証（SMTP Auth）を採用している場合は、SMTP 認証を「行う」にチェックを入れ、認証ユーザ名とパスワードを入力します。



OutLook などのメールソフトの設定を行う場合を考えるとわかりやすいかと思います。

※SMTP 指定機能を使用するには所定のモジュールが必要です。所定のモジュールがインストールされていない場合、利用できない機能の部分に「※モジュールが不足しています」と表示され、選択できないようになります。

※ここで指定した SMTP 情報はパスワードの再発行時のメールなど、システム管理上配信されるメールの送信時に利用されます。各メルマガでの設定は「メール送信設定」から指定します。

コントロールパネルの自動ログアウト時間を変更したい場合は、秒単位で指定します。

コントロールパネルにログインする際に、メールによる2段階認証を行いたい場合は「必要に応じて行う」または「すべてのログインで行う」を選択します。

「必要に応じて行う」を選択した場合、一定期間そのログイン ID でのログインがなかった場合や、前回のログインからアクセス元の情報が変化した場合のみ2段階認証が行われます。

sendmail/パス	<input type="text" value="/usr/sbin/sendmail"/>	
システムのメールアドレス	<input type="text" value="info@milkystep.xsrv.jp"/>	
<input type="checkbox"/> SMTPサーバを指定する		
SMTPサーバ名	<input type="text" value="milkystep.xsev.jp"/>	
SMTPポート番号	<input type="text" value="587"/> ※正の整数で入力してください	
SMTP認証(SMTP Auth)	<input type="checkbox"/> 行う ユーザ名 <input type="text"/> パスワード <input type="text"/>	
保護された接続	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> TLS <input type="radio"/> SSL <input checked="" type="checkbox"/> 設定保存時に送信テストを行う	
自動ログアウト時間	<input type="text" value="1800"/> 秒	※無制限にする場合は0を指定してください
2段階認証	<input checked="" type="radio"/> 行わない <input type="radio"/> 必要に応じて行う <input type="radio"/> すべてのログインで行う	※「必要に応じて行う」を選択した場合、一定期間ログインがない場合や、アクセス元が変化した場合のみワンタイムパスワードが発行されます。

携帯アドレスを判別するための各携帯キャリア用のドメインを設定します。複数ある場合は改行で区切って入力します。

@（アットマーク）以降にこれらのドメインを持つメールアドレスは、システム上、携帯アドレスと判定され処理されます。

docomo向けドメイン	docomo.ne.jp	※改行区切りで複数指定可（計255文字以内）
ezweb（au）向けドメイン	ezweb.ne.jp	※改行区切りで複数指定可（計255文字以内）
softbank向けドメイン	softbank.ne.jp t.vodafone.ne.jp d.vodafone.ne.jp h.vodafone.ne.jp c.vodafone.ne.jp r.vodafone.ne.jp	※改行区切りで複数指定可（計255文字以内）

※デフォルトの状態では以下のドメインが設定されています。

- ・ docomo … 「docomo.ne.jp」
- ・ au … 「ezweb.ne.jp」
- ・ softbank … 「softbank.ne.jp」「t.vodafone.ne.jp」「d.vodafone.ne.jp」「h.vodafone.ne.jp」  
「c.vodafone.ne.jp」「r.vodafone.ne.jp」「k.vodafone.ne.jp」「n.vodafone.ne.jp」  
「s.vodafone.ne.jp」「q.vodafone.ne.jp」「disney.ne.jp」「i.softbank.jp」

メール内で自動変換される URL（クリック測定 URL や1クリック配信解除 URL）に静的な URL を使用したい場合は、「静的 URL を使用する」にチェックを入れます。（Professiona Ver1.63以降）

静的 URL を利用すると、クリック測定 URL であれば、  
http://example.com/ms/cs.cgi?m=abcd&c=1234&u=567 のような動的な URL が、  
http://example.com/ms/cs/abcd/1234/567 のような 静的な URL に変換されます。

自動変換される記事内URL	<input checked="" type="radio"/> 動的URLを使用する <input type="radio"/> 静的URLを使用する	※静的URLを使用するにはWEBサーバのmod_rewriteが使用できる必要があります。 ※バックナンバーページURL、オプトイン・ダブルオプトイン時の本登録URLは静的URLに変換されません。
---------------	---	---

※静的 URL を利用するためには、ご利用の WEB サーバで mod\_rewrite 機能が利用できる必要があります。これが利用できない環境でここにチェックを入れると、変換された URL が正しく機能しませんのでご注意ください。  
詳しくはサーバ管理者までお問い合わせください。

※バックナンバーページ URL、オプトイン・ダブルオプトイン時の本登録 URL は静的 URL に変換されません。

記事や本文テンプレート、既定のヘッダ・フッタの編集時などに HTML エディタ（β 版）を利用したい場合は「HTML エディタ（β 版）」を「使用する」にチェックを入れます。（Professional Ver1.68以降）

HTMLエディタ（β版）	<input checked="" type="radio"/> 使用する (Version2) <input type="radio"/> 使用する (Version1) <input type="radio"/> 利用しない	※β版のため使用する場合でも動作保障は行っておりません。
--------------	--	------------------------------

※HTML エディタはβ 版での提供のため、動作保障などは行っておりません。ご利用のブラウザやバージョンなどにより動作に差異や支障が出たりする可能性があるため、場合によっては使用しづらい場合もあります。その際は上記を「利用しない」にすることで、HTML エディタなしで編集が可能です。

空メール機能利用時に、ご利用のサーバで拡張アドレスが利用できる場合、拡張アドレスのデリミタ（区切り文字）を指定します。（Professional Ver1.69以降）

初期状態では「+」が設定されています。

拡張アドレスおよびデリミタについては、【メールマガジン（各種設定・号外記事）編】第4章内「空メール設定」を別途ご参照ください。

拡張アドレスの デリミタ（区切り文字）	<input style="border: 2px solid red;" type="text" value="+"/>	※1バイト文字1文字で指定 ※!"#\$%&'()*~^ ¥/*`@[ ]{};:<>?の 記号は使用できません。
------------------------	---	---

入力が完了したら「保存」ボタンを押して確定します。

## 10. 既定のヘッダ・フッタの設定

あらかじめメールの冒頭部分（ヘッダ）、署名部分など（フッタ）を設定しておき、メールマガジンなどの編集時に定型文として組み込むことができます。

既定のヘッダ・フッタを設定したい場合は、「共通設定」タブから「既定のヘッダ/フッタの設定」を選択します。



現在登録されている既定のヘッダとフッタの一覧が表示されます。  
ヘッダを追加する場合は、「新しい既定のヘッダを作成」ボタンをクリックします。

新しい既定のヘッダを作成

記事編集時に表示させる「名前」と「内容」を入力します。

※「名前」は255バイト以内、「内容」は64Kバイト以内で指定してください。

「システム情報の設定」でHTMLエディタ（β版）を「使用する」に設定した場合、セレクトボックスでHTMLエディタのON・OFFが切り替えられます。（Professional Ver1.68以降）



内容中には、右コラムのタグが使用できます。

テキストエリア内のタグを挿入したい位置にカーソルを合わせ、タグの「挿入」ボタンを押すか、各パレットの挿入したいオブジェクトを選択すると、テキストエリアに各タグが挿入されます。

※ブラウザの設定で Javascript が OFF になっている場合は ON にしてご利用ください。

**既定のヘッダ (1) の編集**

名 前 既定のヘッダその1

内 容

●●●のメールマガジン 配信日：%%DATE%%

-----

こんにちは！さん。

いつもお読みいただきありがとうございます。

内容中には、共通タグ・独自タグ・アフィリエイトタグが使用できます。

設定を保存 削除

**共通タグパレット** [×]

NEONURL%% 挿入

1クリック解除URL

%%LINKURL%% 挿入

名前 (姓) %%NAME%% 挿入

名前 (姓名) %%FULLNAME%% 挿入

性別 %%SEX%% 挿入

生年月日 %%BIRTHDAY%% 挿入

郵便番号 %%POSTAL%% 挿入

住所 (都道府県) %%LIVE1%% 挿入

住所 (市町村以下)

**パレット**

携帯絵文字

デコメ画像

アップロード済み画像

HTMLタグ

共通タグ

独自タグ

**アフィリエイトタグ**

メルソウ

カテゴリ 全てのカテゴリ

並び 人気/EPC順

表示 1 件

内容 タイトル+URL

野線 なし

挿入

**既定のヘッダ (1) の編集**

名 前 既定のヘッダその1

内 容

●●●のメールマガジン 配信日：%%DATE%%

-----

こんにちは！%%NAME%%さん。

いつもお読みいただきありがとうございます。

④ タグが挿入されます

**共通タグパレット** [×]

返信先アドレス %%REPLY%% 挿入

バックナンバーURL

%%NEONURL%% 挿入

1クリック解除URL

%%LINKURL%% 挿入

名前 (姓) %%NAME%% 挿入

名前 (姓名) %%FULLNAME%% 挿入

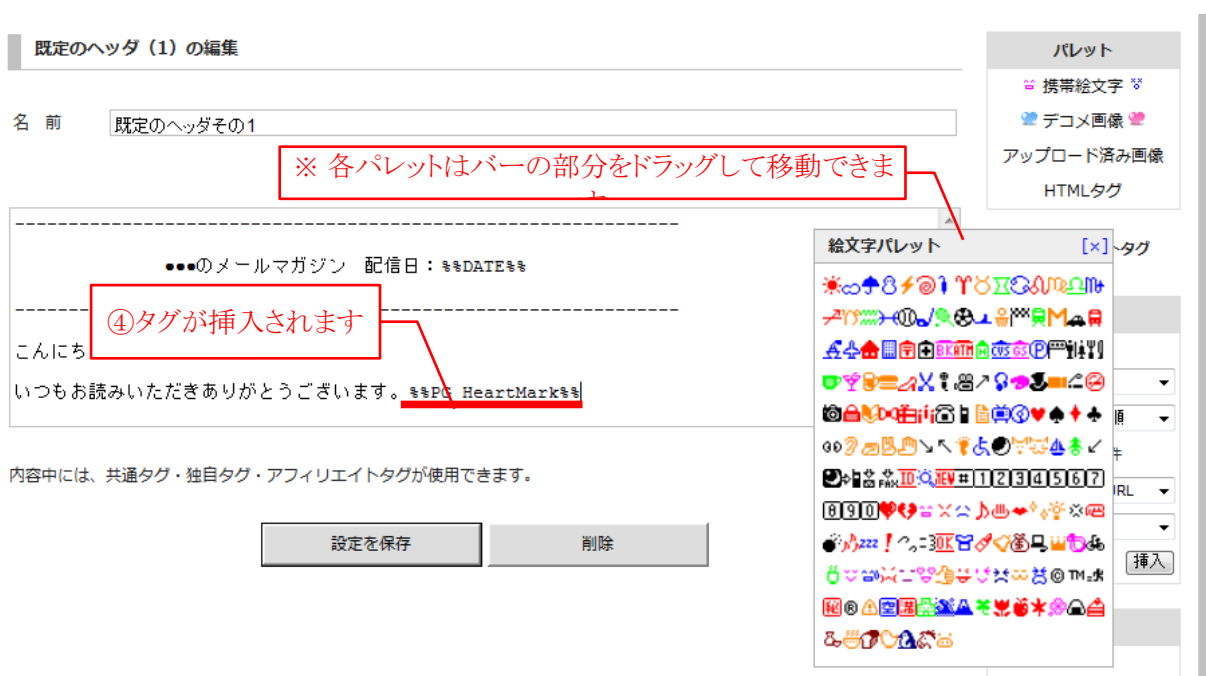
性別 %%SEX%% 挿入

生年月日 %%BIRTHDAY%% 挿入

※上記の場合、「%%NAME%%」部分は、配信時に読者の名前に置き換えられます。

※共通タグ・独自タグのパレットは、Professional Ver1.44以降で利用できます。それ以前のバージョンでは、レフトバーに表示されるリストからの選択になります。

また、HTML メール用に各種画像や携帯絵文字のタグを挿入することができます。



※上記の場合「%%PG\_HeartMark%%」部分は、配信時にハートの絵文字または画像に変換されます。

入力が完了したら、「設定を保存」ボタンを押して保存します。

HTMLエディタ	OFF <input type="button" value="▼"/>
名 前	既定のヘッダその1

既定のヘッダの内容

-----

●●●のメールマガジン 配信日：%%DATE%%

-----

こんにちは！%%NAME%%さん。

いつもお読みいただきありがとうございます。

...

内容中には、右カラムのタグが使用できます。

一覧に新しくヘッダが追加されました。

※内容の文字数が128文字を超える部分は省略されて表示されます。(Professional Ver1.41以降、Light Ver0.93以降)

システムの共通設定 ▶ 既定のヘッダー一覧		
1 ～ 1 / 1 件		
名 前	内 容	
既定のヘッダその1	●●●のメールマガジン 配信日：%%DATE%%	編集
-----		
新しい既定のヘッダを作成		

追加したヘッダの内容を修正したい場合は、修正したいヘッダの「編集」をクリックします。

システムの共通設定 ▶ 既定のヘッダー一覧		
1 ～ 1 / 1 件		
名 前	内 容	
既定のヘッダその1	●●●のメールマガジン 配信日：%%DATE%%	編集
-----		
新しい既定のヘッダを作成		

各情報を編集し、「設定を保存」ボタンを押すと修正が反映されます。

また、このヘッダを削除したい場合は、隣の「削除」ボタンを押します。

既定のヘッダの内容

-----

●●●のメールマガジン 配信日：%%DATE%%

-----

こんにちは！%%NAME%%さん。

いつもお読みいただきありがとうございます。

...

内容中には、右カラムのタグが使用できます。

設定を保存

削除

戻る

確認画面が表示されますので「はい」をクリックして削除します。削除を中止する場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。

システムの共通設定 ▸ 既定のヘッダ (1) の編集 ▸ 既定のヘッダ (1) の削除

既定のヘッダ「既定のヘッダその1」を削除してもよろしいですか？

はい

いいえ (戻る)

既定のフッタを追加・変更・削除したい場合も、同様の手順で行います。  
なお、既定のヘッダ・フッタの作成数に特に制限はありません。



## 11. 本文テンプレート設定

※この機能は MilkyStep Professional Ver1.63以降にてご利用いただけます。

あらかじめメール本文のテンプレート（雛型）を設定しておき、メールマガジンなどの記事編集時に定型文として呼び出すことができます。

本文テンプレートを設定したい場合は、「共通設定」タブから「本文テンプレート設定」を選択します。



現在登録している本文テンプレートの一覧が表示されます。  
本文テンプレートを追加したい場合は「新しいテンプレートを追加」ボタンをクリックします。

システムの共通設定 ▸ 本文テンプレート設定

(本文テンプレートが登録されていません)

新しいテンプレートを追加

名前と内容を入力します。

※「名前」は255バイト以内、「内容」は64Kバイト以内で指定してください。

「システム情報の設定」でHTMLエディタ（β版）を「使用する」に設定した場合、セレクトボックスでHTMLエディタのON・OFFが切り替えられます。（Professional Ver1.68以降）

HTMLエディタ	OFF
名 前	本文テンプレート1

テンプレートの内容

ここに本文テンプレートの内容を入力します。

ここに本文テンプレートの内容を入力します。

ここに本文テンプレートの内容を入力します。

ここに本文テンプレートの内容を入力します。

「設定を保存」ボタンをクリックして保存します。

内容中には、右カラムのタグが使用できます。

変更を保存

戻る

一覧に新しい本文テンプレートが追加されました。

共通設定メニュー

本文テンプレート設定
既定のヘッダ・フッタの設定
属性設定
独自タグ設定
画像ファイル設定
ユーザ設定
バージョンアップ
配信ログ
未解析エラーメッセージ情報
バックアップ

システムの共通設定 ▾ 本文テンプレート設定

1 ~ 1 / 1 件

名 前	内 容	
	ここに本文テンプレートの内容を入力します	
本文テンプレート1	ここに本文テンプレートの内容を入力します	編 集
	ここに本文テンプレートの内容を入力します	
	ここに本文テンプレートの内容を入力します	

1 ~ 1 / 1 件

新しいテンプレートを追加

追加した本文テンプレートの内容を変更したい場合は、変更したいテンプレートの「編集」をクリックします。

共通設定メニュー

本文テンプレート設定
既定のヘッダ・フッタの設定
属性設定
独自タグ設定
画像ファイル設定
ユーザ設定
バージョンアップ
配信ログ
未解析エラーメッセージ情報
バックアップ

システムの共通設定 ▾ 本文テンプレート設定

1 ~ 1 / 1 件

名 前	内 容	
	ここに本文テンプレートの内容を入力します	
本文テンプレート1	ここに本文テンプレートの内容を入力します	編 集
	ここに本文テンプレートの内容を入力します	
	ここに本文テンプレートの内容を入力します	

1 ~ 1 / 1 件

新しいテンプレートを追加

各情報を編集して「変更を保存」ボタンをクリックすると変更が反映されます。

本文テンプレートを削除したい場合は、隣の「削除」ボタンをクリックします。

システムの共通設定 ▸ 本文テンプレート設定 ▸ テンプレート1 の設定

名 前

本文テンプレート1

内 容

ここに本文テンプレートの内容を入力します  
ここに本文テンプレートの内容を入力します  
ここに本文テンプレートの内容を入力します  
ここに本文テンプレートの内容を入力します

内容中には、右カラムのタグが使用できます。

変更を保存

このテンプレートを削除

戻 る

確認画面が表示されるので「はい」ボタンをクリックして削除を確定します。  
削除を中止する場合は「いいえ」ボタンをクリックします。

システムの共通設定 ▸ 本文テンプレート設定 ▸ テンプレート1 の設定 ▸ テンプレート1 の削除

本文テンプレート「本文テンプレート1」を削除します。  
復活はできません。本当に削除してよろしいですか？

は い

いいえ (戻る)

※テンプレートを削除すると、復活はできませんので注意してください。

なお、サーバの容量が許す限り本文テンプレートの作成数に制限はありません。

## 12. 属性設定

メールを配信する読者の属性をあらかじめ指定し、目的に合わせて配信する読者を絞り込むことができます。この属性はあくまで管理用であり、読者がフォームから登録した際に自動的に付与されるものではありません。  
ここで属性の概要を事前に設定することができます。

「共通設定」タブから「属性設定」を選択します。



現在登録している属性の一覧が表示されます。  
属性を追加したい場合は「新しい属性を作成」ボタンをクリックします。

新しい属性を作成

属性名と備考を入力し、「設定を保存」ボタンをクリックして保存します。

※備考欄の入力は必須ではありません。

属性名	属性その1
備考	●●の購入者

一覧に新しい属性が追加されました。

1 ~ 1 / 1 件

属性名	備考	
属性その1	●●の購入者	編集

1 ~ 1 / 1 件

追加した属性の内容を変更したい場合は、変更したい属性の「編集」をクリックします。

1 ~ 1 / 1 件

属性名	備 考	
属性その1	●●の購入者	<b>編集</b>

1 ~ 1 / 1 件

各情報を編集して「設定を保存」ボタンをクリックすると変更が反映されます。

属性を削除したい場合は、「削除」ボタンをクリックします。

属性名	属性その1
備 考	●●の購入者

設定を保存	<b>削除</b>	戻 る
-------	-----------	-----

確認画面が表示されるので「はい」ボタンをクリックして削除を確定します。  
削除を中止する場合は「いいえ」ボタンをクリックします。

属性「属性その1」を削除します。

削除すると、すべての読者に付属している属性「属性その1」も削除されます。  
本当に削除してよろしいですか？

はい	いいえ (戻る)
----	----------

※属性を削除すると、その属性が付与された読者全員からその属性情報が削除されますので、削除の際は注意してください。

なお、サーバの容量が許す限り属性の作成数に制限はありません。

## 13. 独自タグの設定

メールマガジン等の記事編集時には、「共通タグ」などの他に、ご自分で設定したオリジナルのタグ（独自タグ）が使えます。

タグの表記と挿入内容をここで予め設定することができます。

独自タグの設定を行う場合は「共通設定」タブから「独自タグ設定」を選択します。



現在登録されている独自タグの一覧が表示されます。独自タグを追加したい場合は「新しい独自タグを作成」ボタンをクリックします。

システムの共通設定 ▸ 独自タグ一覧

(独自タグはまだ設定されていません)

新しい独自タグを作成

文中に挿入する際のタグの表記と、挿入される内容を入力し、「保存」ボタンをクリックして保存します。

※タグの表記は半角英数字とアンダーバー(\_)の組み合わせで指定します。

※すでに使用されているタグの表記は指定できません。

※独自タグの内容中にさらに独自タグ、他のタグを含めることはできません。

※ここに、クリック測定を有効にした場合の「測定しないURL」（【メールマガジン（各種設定・号外記事）編】第4章内・「号外記事の設定」・「記事の作成」を参照）をまとめて設定しておき、記事編集時に呼び出して使用することもできます。

## システムの共通設定 ▶ 独自タグの編集

タグの表記	%% Jikou_no_Aisatsu_April %%
挿入される内容	
拝啓 春暖の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。	

一覧に新しい独自タグが追加されました。

## システムの共通設定 ▶ 独自タグ一覧

1 ~ 1 / 1 件

タグの表記	挿入される内容	
%%Jikou_no_Aisatsu_April%%	拝啓 春暖の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。	編集

1 ~ 1 / 1 件

※「挿入する内容の文字数」が128文字を超える部分は省略されて表示されます。(Professional Ver1.41以降、Light Ver0.93以降)

追加した独自タグの内容を変更する場合は、変更したい独自タグの「編集」をクリックします。

## システムの共通設定 ▶ 独自タグ一覧

1 ~ 1 / 1 件

タグの表記	挿入される内容	
%%Jikou_no_Aisatsu_April%%	拝啓 春暖の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。	編集

1 ~ 1 / 1 件

各情報を修正して、「保存」ボタンをクリックすると変更が反映されます。

独自タグを削除したい場合は、隣の「削除」ボタンをクリックします。

・配信解除時の解除確認メール

・配信解除時の解除確認メール

・代理登録時のオプトインメッセージ

※独自タグの表記は、半角英数と\_（アンダーバー）の組み合わせで指定してください。

アルファベットの大文字と小文字は区別されます。

※独自タグの内容に、さらに独自タグ・共通タグ・アフィリエイトタグを含めることはできません。



確認画面が表示されますので、「はい」を選択して削除を確定させます。

削除を中止する場合は「いいえ」をクリックします。

システムの共通設定 ▶ 独自タグの編集 ▶ 独自タグの削除

独自タグ「%%Jikou\_no\_Aisatsu\_April%%」本当に削除してもよろしいですか？



なお、独自タグの作成数に制限はありません。



## 14. 画像ファイル設定

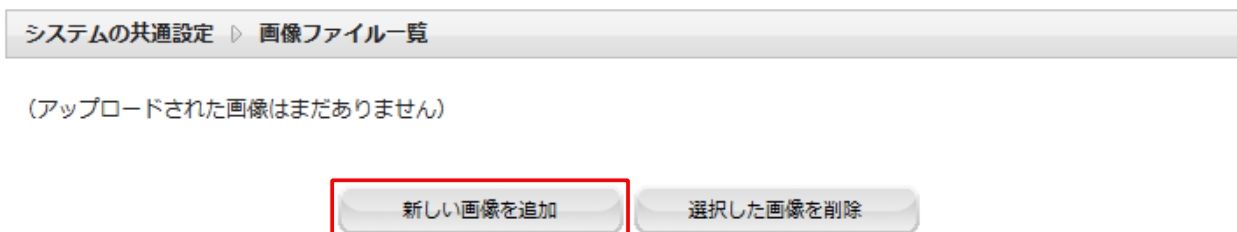
記事を HTML 形式で作成するときに、文中に挿入する画像などをあらかじめサーバにアップロードしておき、記事編集時に呼び出して使用・参照することができます。(Ver1.31以降)

また、「フィーチャーフォン向け HTML」の形式（画像添付型 HTML 形式）で配信する際に使用したい画像は、あらかじめここで画像ファイルを登録しておく必要があります。

画像を新規にアップロードしたい場合は、「共通設定」タブから「画像ファイル設定」をクリックします。



「新しい画像を追加」ボタンをクリックします。



「参照」ボタンをクリックし、ローカルからアップロードしたい画像を選択し、「転送」ボタンをクリックします。



※アップロードできるファイルのタイプは「jpg」「jpeg」「gif」「png」「bmp」「swf」です。

※swf ファイル以外は、アップロードした時のサイズで HTML 形式のメールに表示されますので、あらかじめメールに表示させたいサイズに加工してからアップロードしてください。

※アップロードできるファイルのサイズは1ファイルあたり2MB までです。数に制限はありませんが、サイズの大きなファイルを多数アップロードするとサーバを圧迫しますので、なるべく軽い必要最低限のものをアップロードしてください。

選択した画像がアップロードされリストに追加されました。



※アップロード後のファイル名は自動的に決定されます。

アップロードした画像をサーバから削除したい場合は、削除したい画像にチェックを入れ、「選択した画像を削除」ボタンをクリックします。



削除しようとした画像用のタグが、設定済みの各記事やストーリー内で使用されていると、以下のような警告が表示されます。この場合は、それらの記事からこの画像タグを削除し、再度画像の削除を行ってください。

## エラーメッセージ

「1.png」は以下の記事に使用されているため削除できません。

削除したい場合はこれらの記事から、タグ「%%UPIMG\_1\_png%%」を削除してください。

- testの予約記事1

エラーコード：check1.58\_506

[戻る](#)

削除しようとした画像のタグが使われていなければ、下記のような削除確認画面が表示されますので、「はい」ボタンをクリックして削除を確定します。

システムの共通設定 ▶ 画像ファイルの削除

- 1.png

以上の画像ファイルを削除します。

すでに配信済みのHTMLメールおよび個別メール文に登録したPC向けHTML記事からこの画像を参照している場合、削除すると参照できなくなります。

本当に削除してもよろしいですか？

はい

いいえ (戻る)

※画像をサーバから削除すると、すでに配信済みの PC 向け HTML メールからこの画像を参照していた場合は参照できなくなります。また同様に、【ステップメール他編】第4章内・「個別メール文の設定」・「個別記事の設定」時にこの画像タグを使用して記事を登録していた場合も、その記事から、この画像は参照できなくなりますのでご注意ください。

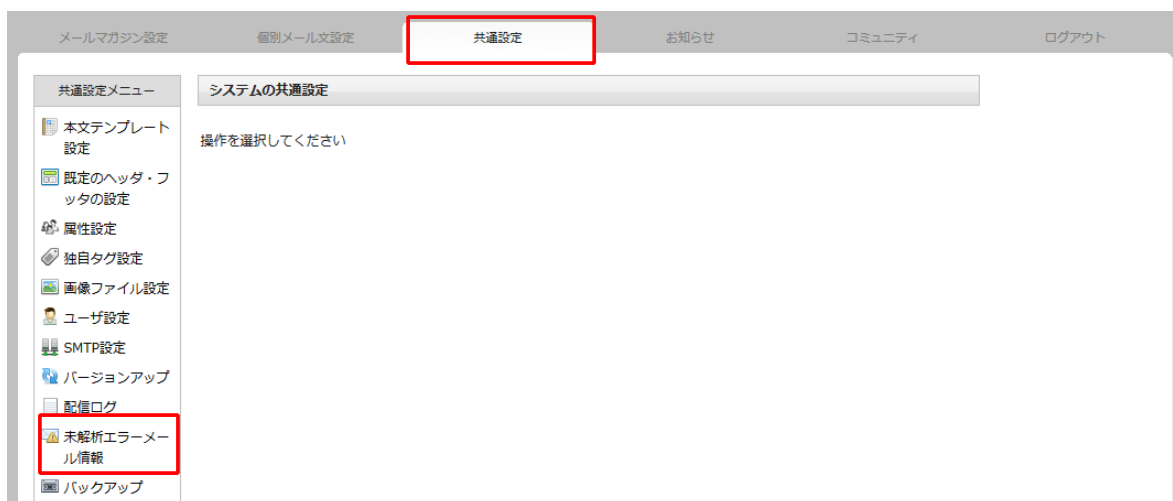
## 15. 未解析エラーメール情報の確認

不達になったエラーメールの自動処理を行った際に、不達原因が不明と判定されたエラーメール、返信元がシステムで判別できなかったエラーメールなどは、メールのソースが自動的にデータベースに保存されます。(Professional Ver1.42以降)

この未解析情報を、[公式コミュニティ](#)へご報告いただくことで、今後システムの品質向上へ役立てることができます。

皆さまのご協力をお願いいたします。

未解析エラーメール情報を確認するには、「共通設定」タブから「未解析エラーメール情報」をクリックします。



未解析エラーメール情報の一覧が表示されます。

詳細を見たい場合は、各項目の「詳細」をクリックします。



解析対象のソース全文を確認することができます。

このソース全文をコピーし、公式コミュニティ内のスレッド「未解析エラーメールの情報はここに報告してください」にアクセスし、コメント欄にコピーしたソースを貼り付けて送信してください。

既定のヘッダ・フッタの設定

属性設定

独自タグ設定

画像ファイル設定

ユーザ設定

バージョンアップ

配信ログ

未解析エラーメール情報

バックアップ

リストア

データベースの再構築

システム情報

未解析エラーメール情報 > 詳細情報

ID	処理日時	未解析の種類
afr_a	2010-12-08 06:51:41	不達原因がその他

解析対象のソース

This message is in MIME format. Since your mail reader does not understand this format, some or all of the message may not be legible

---=\_LF72/AvG9DHTJywk=/LDS  
Content-Type: text/plain; charset="ISO-2022-JP"  
Content-Transfer-Encoding: 7bit

~\$BAw7.@h\$N%aI<%k%W%C%/9\$%,0IGU\$N\$7\$ai"Aw7.\$G\$-\$^\$;\$s\$G\$7\$?#~(B

~\$B"(Kk%aI<%k\$Q~(Bau one net~ \$B\$N%aI<%k%7%9%F%"\$h\$)G[?.\$7\$F\$\*s)\$s^\$9I#~(B

~\$B\$3\$N%aI<%k\$K\$OD>@JV7.\$\$\$7\$@1\$^\$;\$sI#~(B

~\$BIJ11032

Your mail sent on: Wed, 8 Dec 2010 06:50:59 +0900

Could not be delivered to:  
As their mailbox is full.

未解析エラーメールの情報はここに報告してください

「共通設定」→「未解析エラーメール情報」のリストから「詳細」をクリックして表示されるソース全文と未解析の種類を、コメント欄に貼り付けて送ってください。

これらの情報から、製品の品質向上が図れます。皆様のご協力をお願いします。

★ 未解析エラーメール情報の報告 (Create New Entry)

Share this

You can [leave a response](#). Pinging is currently not allowed.

Leave a Reply

Logged in as [Igreks Communications](#). [Logout](#)

Submit Comment

ページ一覧

このサイトの使い方

よくある質問 (FAQ)

CRON関連

インポート関連

データベース関連

バックアップ/リストア関連

バージョンアップ関連

メール送受信関連

初期設定関連

規約関連

記事設定関連

読者リスト関連

システムの改善要求

トラブル

バグの報告

ユーザからの投稿

レンタルサーバ情報

取り扱い説明書ダウンロード

各種エラーの解説

FAQ/投稿を検索

検索

検索

最近作成されたスレッド

アンプロに自動投稿ができません

「配信準備中」と表示され、メール配信処理が行われません

500 Internal Server Error

1クリックでURLの挿入位置を変更できますか？また文章の変更はできますか？

欧文で保存すると文字化けします

最近のコメント

アンプロに自動投稿ができません (Igreks Communications より)

アンプロに自動投稿ができません (MilkyStep より)

アンプロに自動投稿ができません (Igreks Communications より)

アンプロに自動投稿ができません (Igreks Communications より)

## 16. SMTP 設定

※この機能は MilkyStep Professiona Ver1.64以降でご利用いただけます

他社の配信エンジンなど、外部の SMTP サーバの情報を登録しておき、配信時にそれらへのリレーを利用して均等に分散配信することができます。

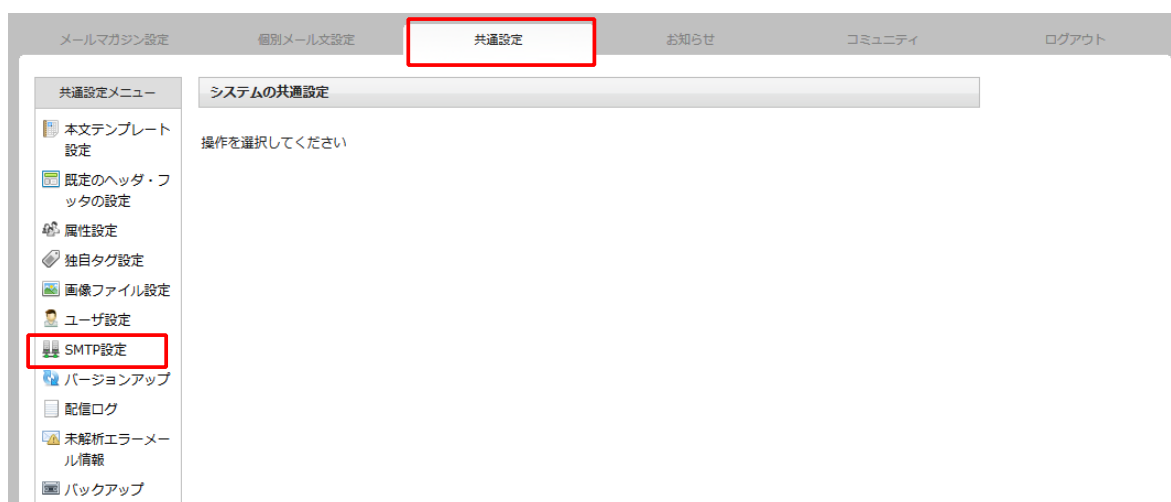
正当なメール配信であるにもかかわらず、予期せぬフリーメールの IP ブロックや、携帯のキャリアブロックなどのリスク分散にご利用いただけます。

※弊社では外部 SMTP サーバの提供や管理などは行っておりません。お客様にて、MilkyStep を設置しているサーバからのリレーを許可する外部 SMTP サーバを別途ご用意ください。

※Yahoo メールや Gmail などの共用フリーメールサービスの SMTP は登録しないでください。

※認証方法が POP Before SMTP のサーバには対応しておりません。

SMTP の設定を行うには、「共通設定」タブから「SMTP 設定」をクリックします。



現在登録されている SMTP サーバの一覧が表示されます。SMTP サーバを追加したい場合は「新しい SMTP 情報を追加」ボタンをクリックします。

システムの共通設定 ▶ SMTP設定

(SMTPサーバが登録されていません)

新しいSMTP情報を追加

各情報を入力します。

名前	① SMTP2
SMTPサーバ名	② milkystep.xsrv.jp
SMTPポート番号	③ 587 ※正の整数で入力してください
SMTP認証(SMTP Auth)	<input checked="" type="checkbox"/> 行う ④-a ユーザ名 info@milkystep.com ④-b パスワード ●●●●●●●● ④-c
保護された接続	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> TLS <input type="radio"/> SSL ⑤

※YahooメールやGmailなどの共用フリーメールサービスのSMTPは指定しないでください。

送信テスト	<input checked="" type="checkbox"/> 設定保存前に送信テストを行う ⑥-a 送信テスト時には sm_1 の基本設定情報を利用する ⑥-b
-------	--

- ①... 任意の名前を入力します
- ②... SMTP サーバ名（ホスト名）を入力します。
- ③... SMTP の接続ポート番号を入力します。一般的には25、OBP25などの対策がされているサーバなどは587、SSL 接続の場合は465などになります。詳細は SMTP サーバを提供しているサーバ管理会社などにお問い合わせください。
- ④-a...SMTP 認証（SMTP-Auth）を採用している場合はチェックを入れます。
- ④-b...④-a でチェックを入れた場合、または⑤で TLS 接続を選択した場合、認証するユーザ名を入力します。
- ④-c...④-a でチェックを入れた場合、または⑤で TLS 接続を選択した場合、認証するパスワードを入力します。
- ⑤... SMTP 接続時に保護された接続を使用する場合は TLS か SSL を選択します。
- ⑥-a...設定保存前に送信テストを行う場合はチェックを入れます。（Professional Ver1.72以降）
- ⑥-b...⑥-a でチェックを入れた場合、送信テストに利用する既存のメルマガ・ステップメール ID を選択します。
- 送信テスト時には、指定したメルマガ・ステップメールの「基本設定の編集」で設定された送信元情報が利用されます。送信テストの宛先は、同じく「基本設定の編集」で設定された返信先アドレス（未設定の場合は送信元アドレス）になります。
- ※「基本設定の編集」については、【メールマガジン（各種設定・号外記事）編】第4章内「基本設定の編集」にて解説しています。

入力が完了したら「変更を保存」ボタンをクリックします。



一覧に新しい SMTP が追加されました。

追加した SMTP の内容を変更する場合は、変更したい SMTP の「編集」をクリックします。

1 ~ 1 / 1 件

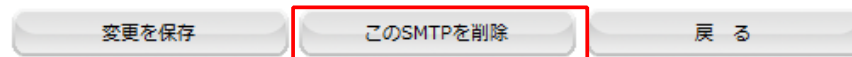
名前	SMTPサーバ名 (ホスト)	
SMTP1	smtp.example.jp	<b>編集</b>

1 ~ 1 / 1 件



各情報を修正して、「保存」ボタンをクリックすると変更が反映されます。

SMTP 情報を削除したい場合は、隣の「この SMTP を削除」ボタンをクリックします。



確認画面が表示されますので、「はい」を選択して削除を確定させます。  
削除を中止する場合は「いいえ」をクリックします。

SMTP「SMTP1」の設定を削除します。  
復活はできません。本当に削除してよろしいですか？



なお、SMTP の登録数に制限はありません。

登録した SMTP は、各メールマガジンの「メール送信設定」から利用できるように設定することができます。

※「メール送信設定」については、【メールマガジン編】第4章内「メール送信設定」にて解説しています。

## 17. 配信ログの参照

各機能でのメール配信時のログを参照できます。

配信ログを確認する場合は、「共通設定」タブから「配信ログ」を選択します。



CRON で起動されたタスクや、即時配信時のログなどが表示されます。

ログは処理が行われた順に記録され、最新のものが一番上に表示されます。

※MilkyStep Light の場合は予約配信のみが利用できるためログの数は Professional より少なくなります。

種類	ID	履歴	日時	ログ
ステップメール	test	2	2016-11-24 17:10:01	メールの送信が完了しました。
ステップメール	test	2	2016-11-24 17:10:01	配信結果を管理者宛にメールしています・・・
ステップメール	test	2	2016-11-24 17:10:01	メールの送信が完了しました。
ステップメール	test	2	2016-11-24 17:10:01	ストーリー1の配信対象読者(1名)に配信を開始しました。
ステップメール	test	2	2016-11-24 17:10:01	配信予定読者テーブルセット完了・・・
ステップメール	test	-	2016-11-24 17:10:01	ストーリー1の配信準備を開始します。
号外即時	test	1	2016-11-24 15:53:45	メールの送信が完了しました。
号外即時	test	1	2016-11-24 15:53:45	配信結果を管理者宛にメールしています・・・
号外即時	test	1	2016-11-24 15:53:45	※古い履歴データ等を削除しました。
号外即時	test	1	2016-11-24 15:53:45	メールの送信が完了しました。
号外即時	test	1	2016-11-24 15:53:45	号外記事No.の配信対象読者(1名)に配信を開始しました。
号外即時	test	1	2016-11-24 15:53:45	配信予定読者テーブルセット完了・・・

①… ステップメールの配信処理を行った際のログが記録されています。

②… 号外記事の即時配信処理を行った際のログが記録されています。

スケジュールされたタスクは、配信予定時刻が同じであった場合、ステップメール→ループメー

ル→号外記事の予約配信の順に処理を行います。  
また、前の処理が全て終了し次第その後の処理を順次行います。

よって、前処理の配信等に時間がかかった場合、以降の処理の開始がその分遅れ、配信予定時刻と実際の配信時刻に差異が生じる場合があります。

スケジュールされたタスク以外の配信（号外記事の即時配信、読者代理登録時のオプトインメッセージの配信、自主登録時に即時配信する初回のステップメールなど）は、それぞれの処理が行われるごとに単独でログに記録されます。

ログは、各メルマガで設定してある履歴保存日数と同じ日数分保存され、その日数以前のログは順次削除されます。

これとは別に、各機能の配信履歴詳細画面から、配信履歴ごとのログを確認することもできます。

※記録されるログの内容は、今後のバージョンアップ等に伴い適宜修正される場合があります。

## 18. バックアップの取得

※この機能はエックスサーバでは使用できません。(本書執筆時)

データベースへ記録した各データのバックアップファイルを取得し、ご自分の PC などに保管しておくことができます。

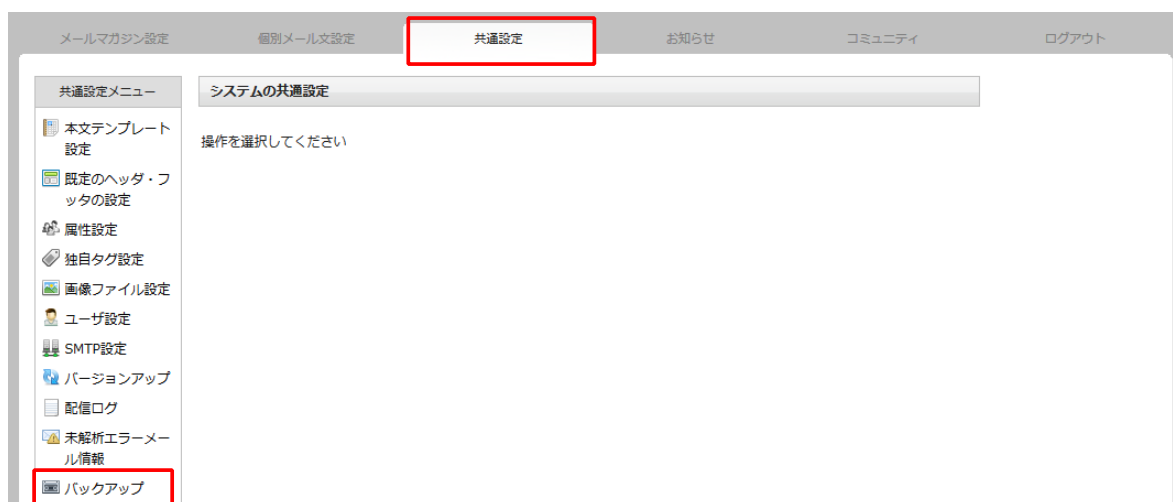
不慮の事故に備えて、普段からバックアップを定期的にとっておくことを推奨します。

※バックアップファイルを作成するためには所定の Perl モジュールが必要です。必要なモジュールがインストールされていない場合は、「※\*\*\*モジュールが必要です」などのエラーが表示されます。この場合はサーバのサービスなどを利用してバックアップをとるなどしてください。

※バックアップファイルを生成する際に、内部でシステムコール（CGI から Unix コマンドを実行すること）を行います。

サーバによっては、セキュリティ上システムコールを禁止していたり、特定のコマンドを制限している場合があります。その場合はサーバのサービスを利用してバックアップをとるなどしてください。

バックアップを行う場合は、「共通設定」タブから「バックアップ」を選択します。



「バックアップファイルを取得」ボタンをクリックします。

現時点でのデータベースのバックアップファイルを取得します。

以下のボタンを押すと最新のバックアップファイルを取得できますので、ダウンロードしてご自身のローカルなどに保存しておくことをおすすめします。

ファイル名は「ms\_backup\_(取得時の日時).mysql.zip」になります。

データのリストアは、「共通設定」→「リストア」からシステム管理者のみ行えます。

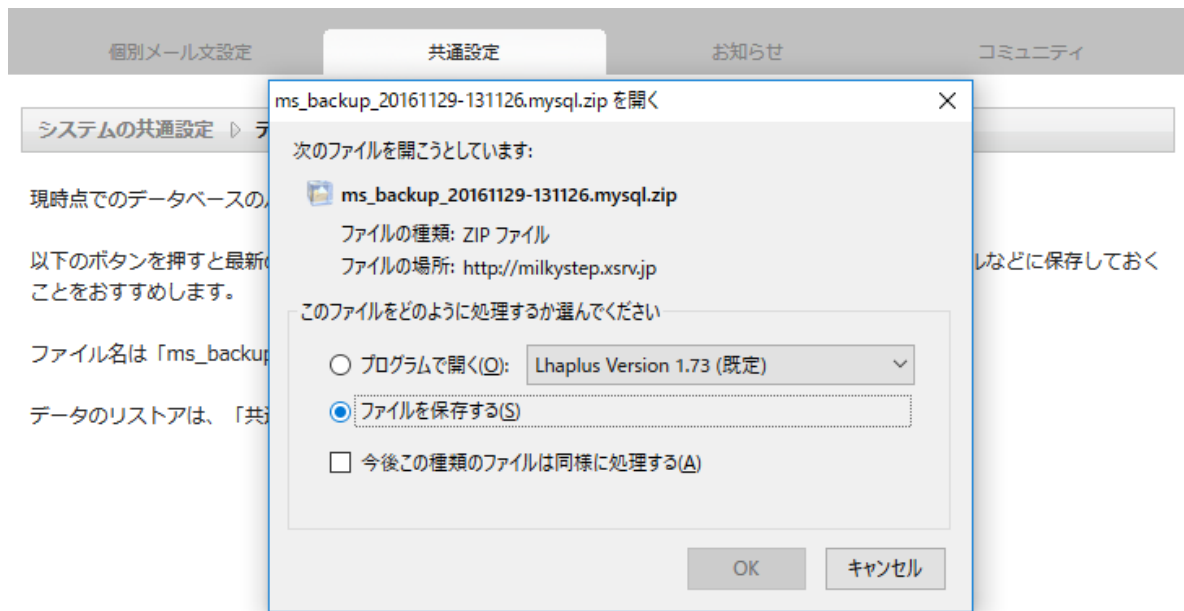
バックアップファイルを取得

現時点でのバックアップファイルが取得できますので、ご自身の PC などに保管します。

バックアップファイル名は「ms\_backup\_(取得時の日時).mysql.zip」となります。

※システムコールに失敗した場合は「\*\*\*システムコール失敗」などといったエラーが表示されま

す。



確認のため、ダウンロードした zip ファイルを解凍して、中のファイルの容量が0でなければバックアップ成功です。

もし0だった場合は、システムコールに失敗していますのでこの機能は利用できません。

「バックアップやリストアができない場合」を参照してバックアップを取得してください。

## 19. バックアップファイルのリストア（復元）

※この機能はエックスサーバでは使用できません。（本書執筆時）

「バックアップの取得」で取得したバックアップファイルのリストア（復元）できます。ファイルの復元作業はセキュリティ上、システム管理者のみが行えるようになっています。

※バックアップファイルのリストアを行うためには所定の Perl モジュールが必要です。必要なモジュールがインストールされていない場合は、「※\*\*\*モジュールが必要です」などのエラーが表示されます。この場合はサーバのサービスなどを利用してリストアを行うなどしてください。

※リストアを行う際に、内部でシステムコール（CGI から Unix コマンドを実行すること）を行います。サーバによっては、セキュリティ上システムコールを禁止していたり、特定のコマンドを制限している場合があります。その場合はサーバのサービスを利用してリストアするなどしてください。

復元を行いたい場合は「共通設定」タブから「リストア」を選択します。



ご自身の PC などから、復元したいバックアップファイルを「参照」ボタンで指定し、「転送」ボタンをクリックします。

「リセット」ボタンを押すと、参照ファイルの指定がリセットされます。

データベースのバックアップファイルからデータをリストア（復元）します。

リストアを行う場合はバックアップファイルを指定して転送してください。

参照... ms\_backup\_20161125-184026.mysql.zip

転送 リセット

バックアップファイルがサーバに転送され、リストアの確認画面が表示されますので「実行」ボタンをクリックします。

リストアをキャンセルする場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

※ファイル転送後はサーバにバックアップファイルが存在する状態ですので、そのままにしておくのはセキュリティ上好ましくありません。よって中止する場合も必ず「キャンセル」ボタン

をクリックして中止してください。

「キャンセル」ボタンをクリックすることによって、サーバ上に転送されたバックアップファイルは削除されます。

バックアップファイルをサーバに転送しました。

「ms\_backup\_20161125-184026.mysql.zip」をリストアします。

リストアを実行すると現在のデータベースに格納されているすべてのデータは破棄され、バックアップファイルのデータに書き換えられます。

本当にリストアを実行してよろしいですか？

※リストアをしない場合も、アップロードしたファイルを削除するため必ずキャンセルボタンを押してください。



※システムコールに失敗した場合は、「\*\*\*システムコール失敗」などといったエラーが表示されます。

※リストア実行後は、すべてのデータがバックアップファイルのデータに書き換えられ、操作を取り消すことはできません。十分注意の上ご利用ください。

リストアに成功した後、コントロールパネルを操作すると自動的にログアウトしますので、操作を継続する場合は再度ログインしてください。

## 20. バックアップやリストアができない場合

サーバの仕様により MilkyStep からバックアップの取得やリストアが行えない場合、mysql クライアントを利用してこれらを行うことができます。

MySQL を提供しているサーバでは、ほとんどの場合「phpmyadmin」という mysql クライアントソフトを用意しています。このソフトを利用してバックアップ・リストアする方法を説明します。エックスサーバの場合は、サーバパネルにログインし、「DATABASE」から「phpmyadmin」をクリックします。



「エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。」の項目で設定したデータベースのユーザ名とパスワードを入力してログインします。



phpmyadmin の管理画面が表示されますので、左側のデータベース一覧から「エラー! 参照元が見つかりません。」の項目で設定したデータベースを選択します。

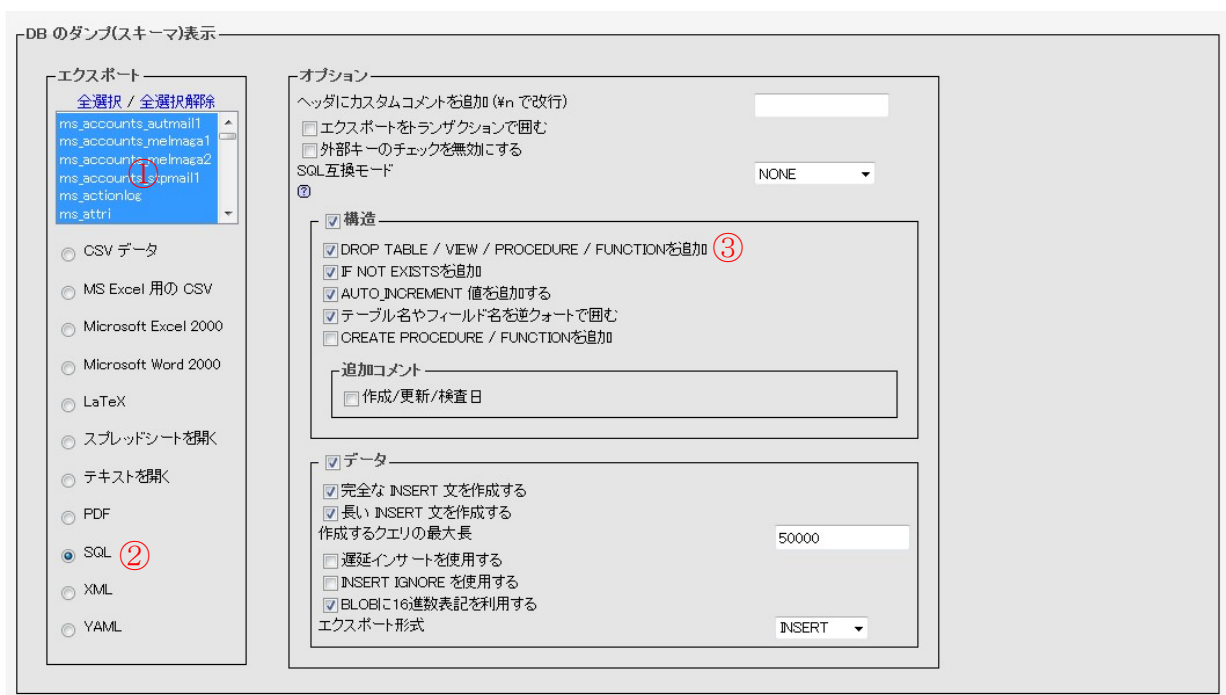




現在データベースに格納されているテーブル一覧が表示されますので、上部の「エクスポート」タブをクリックします。



エクスポートの指定画面が表示されます。



- ① ・ ・ 「ms\_\*\*\*」という名前のテーブルをすべて選択します。
- ② ・ ・ 「SQL」にチェックを入れます。
- ③ ・ ・ オプション欄の「構造」にチェックを入れ、さらに「DROP TABLE/・・・を追加」にチェックを入れます。

その他はデフォルト状態のままで OK です。

画面を下にスクロールします。

④ ファイルに保存する

ファイル名のテンプレート (1):  ( ☒ テンプレートを記憶させる )

圧縮: ☐ なし ☒ "zip 形式" ☐ "gzip 形式" ☐ "bzip 形式" ⑤

☒ non ☐ EUC ☐ SJIS エンコーディングへ変換する

☐ 全角カナへ変換する

実行する

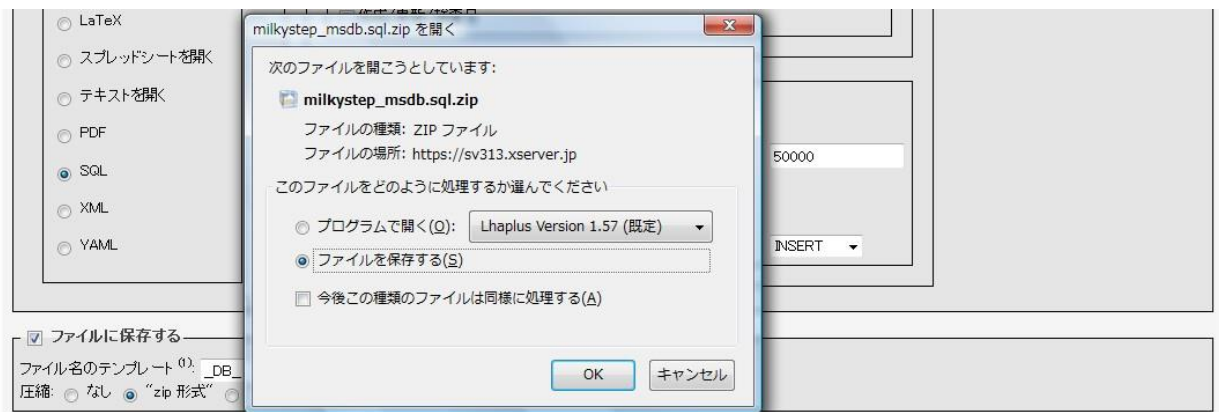
① このテンプレートは `strftime` を使って解釈されます。そのため、時間の書式文字列を利用できます。また、次の変換も行われます。\_SERVER\_/サーバ名, \_DB\_/データベース名、それ以外のテキストは修正されません。

- ④ ・ ・ 「ファイルに保存する」にチェックを入れます。
- ⑤ ・ ・ ダウンロードするファイルを圧縮したい場合は好きな圧縮方式を選択します。

その他はデフォルト状態のままで OK です。

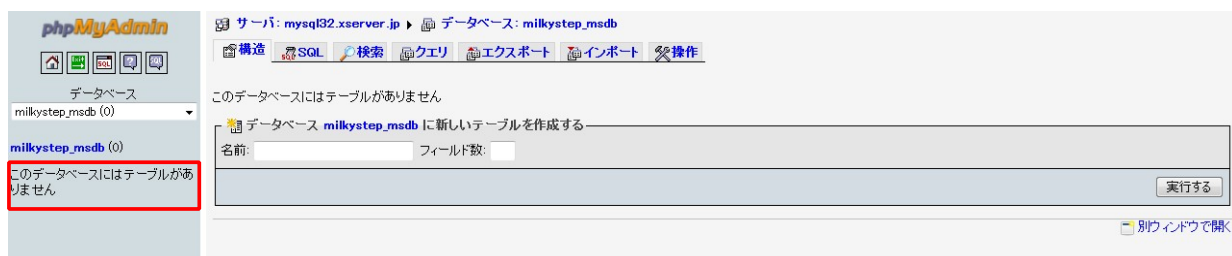
良ければ「実行する」ボタンをクリックします。

エクスポートファイル（バックアップファイル）がダウンロードされますので、ご自身の PC などに保存してください。



続いてインポート（リストア）を行います。

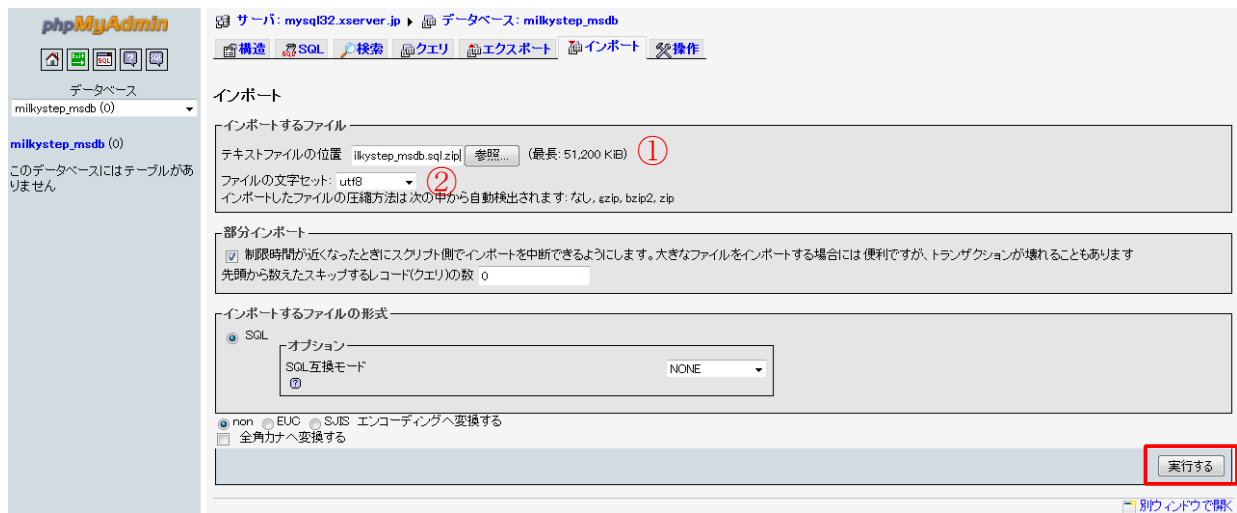
例ではわかりやすいようにあらかじめ MilkyStep 用のテーブルを全て削除しています。



データベース名を選択して上部の「インポート」タブをクリックします。



インポートの指定画面が表示されます。

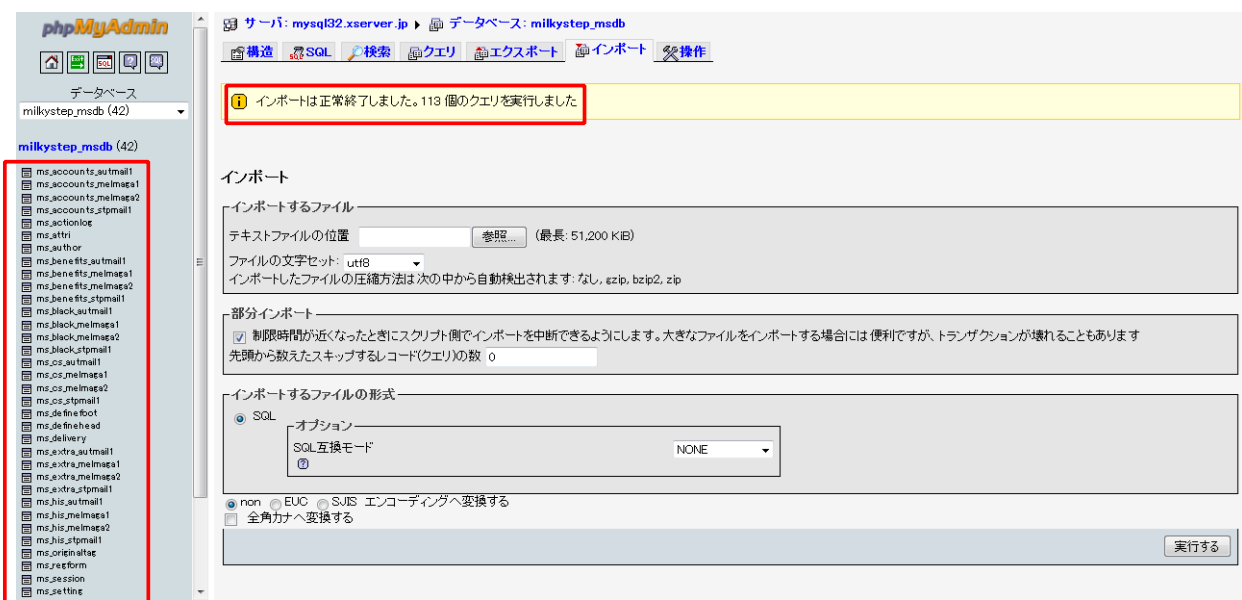


- ① ・ ・ ご自分の PC などから先ほどエクスポートしたファイルを指定します。
- ② ・ ・ ファイルの文字セットは「utf8」を選択します。

その後はデフォルト状態のままで OK です。

良ければ「実行する」ボタンをクリックします。

ファイルのインポートが開始され、成功するとテーブルと中のデータが復元されます。



※ファイルのインポートは既存の同名のテーブルを削除してバックアップファイルのデータをインポートします。  
取り扱いは適切に行ってください。

## 21. ログイン履歴

コントロールパネルにログインした履歴が、直近90日間まで確認できます。(Professional Ver1.85以降)

ログイン履歴を確認するには、「共通設定」タブから「ログイン履歴」を選択します。



現在までのログイン履歴が一覧表示されます。

## システムの共通設定 ▶ ログイン履歴

※表示可能な期間は直近90日間までとなります。

1 ~ 14 / 14

① 日時	② ログインID	③ 接続元IP	④ ブラウザ情報
2016-03-04 12:06:17	user_3	116.58.178.12	Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; rv:44.0) Gecko/20100101 Firefox/44.0
2016-03-04 12:06:09	user_1	116.58.178.12	Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; rv:44.0) Gecko/20100101 Firefox/44.0
2016-03-04 12:06:01	user_2	116.58.178.12	Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; rv:44.0) Gecko/20100101 Firefox/44.0
2016-03-04 12:05:56	user_2	116.58.178.12	Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; rv:44.0) Gecko/20100101 Firefox/44.0
2016-03-04 12:05:33	user_3	116.58.178.12	Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; rv:44.0) Gecko/20100101 Firefox/44.0
2016-03-04 12:05:20	user_2	116.58.178.12	Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; rv:44.0) Gecko/20100101 Firefox/44.0
2016-03-04 12:05:13	user_1	116.58.178.12	Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; rv:44.0) Gecko/20100101 Firefox/44.0
2016-03-04 12:05:06	user_1	116.58.178.12	Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; rv:44.0) Gecko/20100101 Firefox/44.0
2016-03-04 12:04:57	user_3	116.58.178.12	Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; rv:44.0) Gecko/20100101 Firefox/44.0

- ①… ログインした日時を表します。  
 ②… ログインしたユーザのログイン ID を表します。  
 ③… ログインしたユーザの接続元 IP アドレスを表します。  
 ④… ログインしたユーザのブラウザ情報（User Agent 情報）表します。

## 22. 読者横断検索

メルマガ ID を横断して、読者の検索を行います。

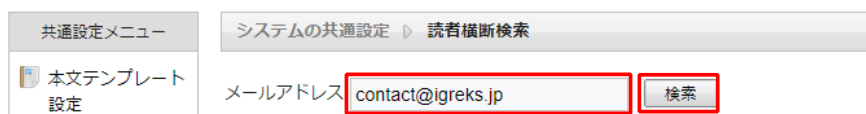
※指定した読者を見つけない際や、「配信停止状態」・「配信実行状態」等で実行したい際にご活用下さい。

「共通設定」タブから「読者横断検索」を選択します。



検索したい「メールアドレス」を、記入して「検索」をクリックします。

※メールアドレスを記述します。



検索した読者の、メルマガ ID と名前が確認できます。

メールアドレス	contact@igreks.jp	検索
1 ~ 5 / 5		
ID	名前	メールアドレス
aff_c	株式会社イグレックス	contact@igreks.jp
test	igreks 1	contact@igreks.jp
dl_msl	igreks 2	contact@igreks.jp
ymImem	igreks 3	contact@igreks.jp

メールアドレスをクリックすると、クリックしたメルマガ ID に移動します。

## 23. API 設定

API 機能の利用に必要なクレデンシャル（API Key ID, API Secret Key のペア）の作成や削除、エンドポイントごとのパラメタ取得を行います。

「共通設定」タブから「API 設定」を選択します。

- ① … クレデンシャルの作成を行います
- ② … ③のダウンロード時にメールマガジン固有の値をあらかじめセットする場合に選択します。未選択のままダウンロードすることも可能です。
- ③ … 各エンドポイントのリクエスト用パラメタを json 形式でダウンロードします。メールマガジンが選択されている場合はメルマガ ID やメールマガジン固有の自由項目パラメタなどが挿入された状態でダウンロードされます。

①のボタンをクリックすることでクレデンシャルの作成画面に遷移します。  
クレデンシャルを利用するアプリケーション名などをクレデンシャルに名付けることが可能です。

※API Key ID, API Secret Keyはそれぞれシステムによって自動発行されます。



保存ボタンで名前を決定すると、クレデンシャル情報の閲覧画面に遷移します。

クレデンシャルの名前 ①	test
API Key ID ②	abcdef1234567890
API Secret Key ③	abcdef1234567890abcdef1234567890abcdef1234567890abcdef1234567890

※API Key ID, API Secret Keyはそれぞれシステムによって自動発行されます。

保 存

戻 る

クレデンシャルの削除

※このクレデンシャルを削除した場合、今後これらを使用して行われたAPIリクエストはすべて拒否されます。  
※稼働中のシステムなどで使用されているクレデンシャルを削除しないようご注意ください。

☐ 確認しました

削 除

④

- ①… 前画面で設定したクレデンシャルの名前です。編集して保存ボタンを押すことで、後から変更することが可能です。
- ②… API 利用時の認証に必要な API Key ID です。システムによって自動発行され、変更はできません。
- ③… API 利用時の認証に必要な API Secret Key です。システムによって自動発行され、変更はできません。
- ④… クレデンシャル情報を削除します。削除された時点でそのクレデンシャル情報を使用して行われた API リクエストはすべて拒否されるため、稼働中のシステムで使用されているクレデンシャルを削除しないようご注意ください。